



## SaaS型のIBM App Connect Professionalを提供することで顧客のクラウド・ファーストのデジタル・トランスフォーメーションを強力にサポート

SAPソリューションを展開する株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ(以下、NTTデータ GSL)は、複数のシステムやアプリケーションの接続・統合ツールとしてSaaS版のIBM App Connect Professional(以下、App Connect)を採用。あらかじめ用意されている数多くのアプリケーションとのコネクタや代表的な構成パターンを網羅したテンプレートを活用することで、スピーディーに統合プロジェクトを推進できる環境を整えました。クラウド型のSAPソリューションと組み合わせることで、顧客のクラウド・ファーストのデジタル・トランスフォーメーションを強力にサポートしていくことを展望しています。

### **【導入製品】** IBM App Connect Professional



#### **課題**

- 以前から活用していたEAIツールはグローバル対応、SaaSへの対応などの点で課題があった
- クラウド・ファーストのデジタル・トランスフォーメーションをより強力にサポートすることが求められていた

#### **ソリューション**

- SaaS版のIBM App Connect Professionalを採用し、顧客に提供することでクラウド環境への対応力を強化

#### **効果**

- 豊富に用意されたコネクタやテンプレートを活用することでスピーディーに統合環境を構築
- 従量課金のSaaSとして提供することで顧客のコスト負担を軽減

## 【お客様課題】

### グローバル化やクラウド環境に柔軟に対応できるEAIソリューションを検討

NTTデータGSLは、NTTデータグループにおけるSAP事業の中核会社として2012年に設立。SAPの企画、導入、運用、活用まで、ワンストップかつグローバルでサービスを提供しています。

NTTデータGSLのビジネス状況について、同社 代表取締役常務 小川 兼一郎氏は「GSLは、『グローバルソリューション』『業種別ソリューション』『クラウドソリューション』『戦略・活用ソリューション』『運用保守』のサービス・メニューでSAPソリューションを展開しています。NTTデータグループ全体のグローバルSAP事業の年間売上額は1,600億円を超えています」と説明します。

企業においてSAPを活用する場合、SAPを単体で活用するケースは少なく、オンプレミス上のほかのシステムやアプリケーション、クラウドから提供されるSaaS型アプリケーション、海外拠点のSAPなど、さまざまなシステムと接続する必要があります。そうした連携へのサポートをより強化するため、NTTデータGSLは「Smart Connection」をキーワードとした取り組みを開始しました。その概要について同社 執行役員 アウトソーシング事業部長 野口 善紀氏は以下のように語ります。

「GSLはSAPだけをサポートするのではなく、ほかのシステムとの連携部分に関するサービスを強化するという方針から『Smart Connection』というテーマを掲げました。システム連携をサポートする対策として、以前よりオンプレミスで活用する国内ベンダーのツールを提供してきましたが、グローバル対応、クラウド(SaaS)対応、SAP製品との親和性確保といった観点からより最適なソリューションを検討することになりました」

以前提供していたツールは、グローバルでサポートできる技術者が不在で、海外拠点で改修などが必要になった場合、自前で対応するしかありませんでした。また、すべてのシステムをオンプレミス環境にそろえるという従来型の考え方から、各種SaaSやIaaSを積極的に活用する、あるいはSAPをクラウド環境で活用するといったクラウド・ファーストの考え方へのデジタル・トランスフォーメーションが進む状況で、従来のツールではシステム連携の際にスクラッチ開発が必要になり、大きな手間を必要としていました。こうした課題について顧客から改善ニーズが高まってきたことを受け、「Smart Connection」施策として、2016年8月から2017年7月にかけてグローバル化やクラウド環境に柔軟に対応できる新しいEAIソリューションの選定を行いました。

## 【ソリューション】

### 数多くのコネクタと豊富なテンプレートを活用可能なApp Connectを採用

NTTデータGSLは新しいEAIソリューションを選ぶために複数のツールを比較検討。その結果、App Connectの採用を決定しました。選定の評価ポイントについて同社 アウトソーシング事業部 ソリューション統括部 マネージャー 小倉 康徳氏は「App Connectはあらかじめ数多くのアプリケーションに対応しているという点を大きく評価しました。接続するサービスの選択肢が豊富で、それらを簡単な操作で連携させることが可能になります。またIBMが提供しているので、グローバルでのサポート体制が整っているということも安心材料になりました」と説明します。

さらに同社 アウトソーシング事業部 ソリューション統括部 チーフ・コンサルタント 宋 慶鐸氏は「複数社のサービスを比較した結果、コスト面でApp Connectの優位性が確認できました。App Connectはオンプレミス型以外にSaaS型でも提供されていることから、小規模のお客様であっても従量課金制によって低価格で活用することが可能になります。またSAPアダプターやWebアダプターなどを無料で利用可能なことも魅力的です」とコスト面のメリットを強調します。

App Connectを展開することで、より高品質なサービス提供につながると期待しています。



株式会社株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ  
代表取締役常務  
小川 兼一郎 氏

クラウド版のSAPを活用しているお客様に対してApp Connectもクラウドから提供することで、より強力にデジタル・トランスフォーメーションをサポートできるようになります。



株式会社株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ  
執行役員  
アウトソーシング事業部長  
野口 善紀 氏

App Connectは、ハイブリッド・クラウド環境間のデータ、アプリケーション、APIの統合を支援するソリューションで、提供形態としてはオンプレミス版とSaaS版が用意されています。SAP、Salesforce、Concurをはじめとして、数多くのシステムやアプリケーションを網羅したコネクター・ライブラリーが用意され、100種類以上の接続パターンをテンプレートとして備えているため、簡単な操作でスピーディーに連携システムを構築することが可能です。

「以前のApp Connectはある程度の初期投資が必要でしたが、2016年秋に従量課金モデルに料金体系が変更されたため、大きなコスト負担を掛けることなくお客様に活用していただけるようになりました。またSaaS版が用意されている点も大きなメリットになります。クラウド版のSAPを活用しているお客様に対してApp Connectもクラウドから提供することで、より強力にデジタル・トランスフォーメーションをサポートできるようになります」(野口氏)。

## 【効果/将来の展望】

クラウド対応のSAPとクロスセルを展開し、より高品質なサービス提供を実現

App Connectを採用候補に絞った同社は、SAPのクラウド・ネイティブ型サービスであるSAP Business ByDesign環境からの幾つかの接続パターンについて機能評価を実施しました。

「例えば、SAP Business ByDesignとクラウドから提供されるSaaSとの連携を検証しました。クラウドのサービス間を接続し、その接続ツールもクラウドから提供されるというパターンはこれまで扱ったことがないものでしたが、今後はこうした構成が増えていくと予想されるので、そこに対応できることは大きな意義があります」(小倉氏)

機能評価作業を担当した同社 ゼネラルビジネス事業部 Business ByDesign Team コンサルタント アキフ ファーハン氏は「例えばSAPと接続する際はSAPアダプターを活用すればいいのですが、作業負荷が大きいのはその先で、通常はSAPにリクエストするデータの種類や形式などについてプログラミングを施す必要があります。しかし、App Connectは豊富なテンプレートが用意されているので、スクリプトを書き起こすことなく短時間で作業を完了することができます」とApp Connectへの評価を説明します。

NTTデータGSLは、App Connectを使ったサービス提供の体制を整備し、単にApp Connectを提供するだけでなく、アプリケーション統合プロジェクトの設計、構成、運用管理までを請け負い、ワンストップでサポートできる環境を用意しました。新規顧客あるいはSAPのクラウド移行といったタイミングで展開していく予定です。

クラウドのサービス間を接続し、その接続ツールもクラウドから提供されるというパターンに対応できることは大きな意義があります。



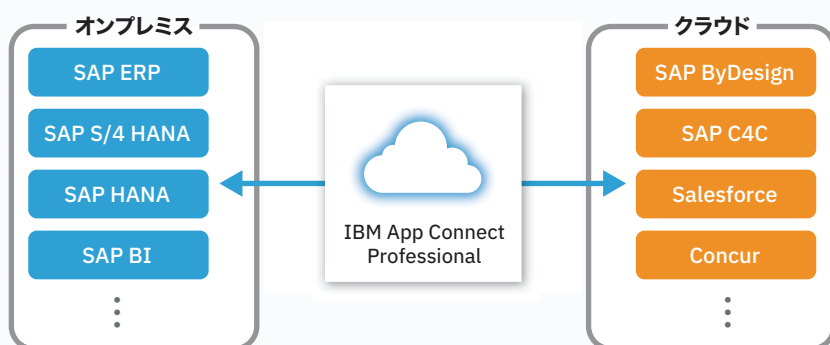
株式会社株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ  
アウトソーシング事業部  
ソリューション統括部  
マネージャー  
小倉 康徳氏

App ConnectはSaaS型でも提供されていることから、小規模のお客様であっても従量課金制によって低価格で活用することが可能になります。



株式会社株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ  
アウトソーシング事業部  
ソリューション統括部  
チーフ・コンサルタント  
宋 慶鐸氏

ハイブリッド環境向けのデータ統合ソリューション



App Connect は豊富なテンプレートが用意されているので、スクリプトを書き起こすことなく短時間で作業を完了することができます。



株式会社株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ  
ゼネラルビジネス事業部  
Business ByDesign Team  
コンサルタント  
アキフ ファーハン 氏

「SAP Business ByDesignや中堅企業向けのクラウド型SAPサービスであるGBMT (Global Business Model for Trading Company) Cloudなどと一緒に展開していく予定です。GBMT CloudにApp Connectを組み込む、あるいはSAP Business ByDesignでほかのシステムと接続が必要な場合はApp Connectの活用を勧めるなど、それらの部門のスタッフにもApp Connectを積極的に提供するという考え方が浸透してきています。お客様にとっては統合ツールを従量課金で活用できるというメリットがあり、より高品質なサービス提供につながると期待しています」(小川氏)。

NTTデータ グローバルソリューションズは、最新の技術を取り入れながら、今後も品質の高いサービス提供を継続していきます。

## NTT DATA

NTT DATA Global Solutions Corporation

### 株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ

〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-26-5 東京トラフィック錦糸町ビル4F  
<https://www.nttdata-gsl.co.jp/>

株式会社NTTデータ グローバルソリューションズは、日系企業のグローバル展開に伴う、システムのグローバル化需要に応えるために、NTTデータグループにおけるSAP事業の中核会社として2012年に設立。国内のグループ会社に分散しているSAPソリューション、業務ノウハウの一体化を図り、戦略的な事業経営を目指します。

©Copyright IBM Japan, Ltd. 2017

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

このカタログの情報は2017年11月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。記載の事例は特定のお客様に関するものであり、全ての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。IBM、IBM ロゴ、ibm.com は、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBM または各社の商標である場合があります。現時点でのIBM 商標リストについては[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。